

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈中・社会〉

特別研修員 社会 遠峯 健一（中学校教諭）

単元名 『産業の発達と幕府政治の動き』（第2学年） 全9時間計画

単元のねらい

江戸時代の社会の変化に関する資料を読み取り、幕府の政策変化や産業、町人文化の発展との関連を多面的・多角的に考える活動を通して、幕藩体制の変化について理解できるようにする。

単元構想

単元全体がつながりのある学習になるように工夫しました。つかむ過程では、江戸時代初期と中期の資料を提示し比較することで、江戸時代の社会の変化と幕藩体制の変容に気付かせます。追究する過程では、産業や学問・文化の発展、幕政の変化や外国の圧力などの具体的な変容について考察し、現代につながる社会基盤が作られたことを理解させます。まとめる過程では、江戸時代の変化について印象に残った歴史的な事象を話し合わせ、次の時代のつながりが気付けるように構成しました。

過程

主な学習活動

1. 単元の課題」を把握する

○江戸時代初期と中期・後期の地図や絵を比較して考える活動を通して、単元の課題解決への意欲を高めることができるようにする。

江戸時代の中・後期の世の中には、どのような変化があったのだろうか。

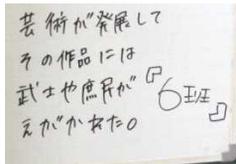
○江戸時代の初期と中期における変化の要因を予想して学習計画を立てる。

2. 単元の課題の解決に向け、単位時間ごとに追究する

- ①江戸時代にはどのような産業が発達したのだろうか。
- ②江戸時代の交通路や都市は、どのように発展したのだろうか。
- ③徳川綱吉の時代の政治や、元禄文化には、どのような特色があったのだろうか。
- ④徳川吉宗の政治改革には、どのような特色があったのだろうか。
- ⑤田沼政治と松平定信の政策には、どのような特色があったのだろうか。
- ⑥社会の変化の中で発展した学問や文化には、どのような特色があったのだろうか。
- ⑦国の内外からの危機に対して、江戸幕府はどのように対応していたのだろうか。



【グループでの活動】



【ホワイトボードの活用】



【ICTの活用】

課題意識が高まる資料の提示

「なぜ?」「どうして?」といった課題意識が高まるよう、変化が著しい資料を提示し、気付いたことを話し合わせる。

学びの見通しをもたせる

単元の見通しがもてるように、資料や既存の知識を生かして話し合い、予想を基に学習計画を立てさせる。

課題解決的な授業の流れ

- 1 本時のめあてを設定する。
- 2 教科書や資料を手掛かりに具体的な事実を調べさせる。
- 3 それらの共通点・意味・目的などを集団で話し合い、ねらいに迫るキーワードを導き出す。
- 4 キーワードを基に本時のまとめを板書する。
- 5 本時を振り返り、学びを自覚する。

ICT・教具の活用

テレビ、パソコンなどのICTやホワイトボードなどの教具を効果的に活用する。

学習形態の工夫

調べたことを共有したり、補完したりできるように、ペア・グループなどの学習形態を工夫する。

「単元の課題」に対する結論をまとめさせる

単元全体を通して学習してきたことを基に、「単元の課題」に対する結論を導けるような活動を設定する。本単元では、画用紙一枚に江戸時代の変化の中で、最も印象に残った変化について書かせ、その資料を基に単元のまとめを導く。

つかむ(1)

追究する(7)

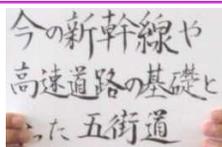
まとめる(1)

3. 単元について振り返る

○単元の課題について最も印象的だった江戸時代の変化とその理由を画用紙にまとめ、発表する。

○単元の課題について話し合う。

○単元について振り返る。



【簡潔なまとめ】

様々な社会の変化から強力な幕藩体制が揺らぎ始め、新しい時代を求める気持ちが広がってきたんだ。

指導例：『産業の発達と幕府政治の動き』（第2学年第1時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○めあてを確認する。

T：これは何の資料が分かりますか。

S：今の地図と比べるとかなりいびつですが、日本地図だと思います。

めあて 江戸時代初期と中期・後期の地図や絵を比較して単元の課題を立てよう。

めあての設定

○社会的事象との出会いの場面で生徒の課題意識を高めるように、効果的な資料を精選するとともに、既有知識を問い掛ける。

2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。

○資料(地図・絵)を比較して考える。

T：上は、江戸時代始めの地図です。

下は、江戸時代後半の頃に作られた地図です。この二つを比較して考えましょう。

S：始めの地図は、北海道がありません。それに、地図が全体的にいい加減な感じがします。

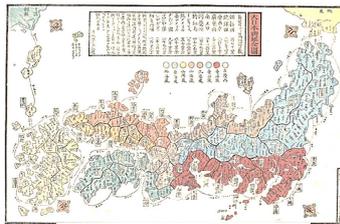
S：後半の地図は、今の日本地図とほとんど形が変わっていません。

S：百年位の間はずいぶん変わりました。

T：どうしてこのように変わったと思いますか。

S：江戸時代になって、科学技術が進歩したのではないのでしょうか。

S：貿易によってこの技術がもたらされたのではないのでしょうか。



江戸時代始めの地図



江戸時代後半の地図

課題意識が高まる資料

○複数の資料を比較・関連付けながら観察させることで、江戸時代の文化や社会に大きな変化が起きたことに視点が当てられるようにする。

3 学級全体で、社会的事象について調べたいことの共有や焦点化を図る。

○時代の変化についての認識を高められるように、グループや学級全体で話し合う。

T：資料から考えたことや調べたいことを話し合しましょう。

S：なぜ江戸時代の後半になるにつれて、技術や文化が発展したのか知りたいです。

疑問や調べたいことの共有

○生徒の感想や調べたいことの発言をホワイトボードを活用して可視化し、共有することで単元の課題づくりができるようにする。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○生徒の発言をまとめ、共通して解決する単元の課題を記述する。

【単元の課題】江戸時代の中・後期の世の中には、どのような変化があったのだろうか。

○習得した知識や友達の見解などを記述し、本時の振り返りを行う。

☆江戸時代の前半と後半とは大きな変化が起きていることや、どのように変わっていったのかを調べていきたい。

単元の課題の設定

○事実や手順、方法を追究するために「どのような」という言葉を使って単元の課題を設定させる。

本時の振り返りの視点

○習得した知識や参考になった友達の見解、次時に調べてみたいことを記述させることで、本時の振り返りをさせる。

指導例：『産業の発達と幕府政治の動き』（第2学年第4時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○学習計画を振り返り、江戸時代の変化を追究することを確認する。

- T：前回までに江戸時代のどのような変化を勉強してきましたか。
 S：農機具が大きく進歩したことを学びました。
 S：江戸や大阪などの都市が発達したことを学びました。
 T：今日は、政治や文化の変化について考えます。

本時のめあてをつかむ

○学習計画や前時までの学習を振り返ることで、本時の解決方法について見通しをもたせる。

めあて 徳川綱吉の時代の政治や、元禄文化には、どのような特色があったのだろう。

2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。

○2枚の絵を比較して考える。

- T：これは何の絵でしょうか。
 S：左は、武士だと思います。たくましい感じがします。
 S：右は、女性っぽいです。
 T：実は、どちらも武士の絵です。戦国時代に描かれた武士の絵はどちらだと思いますか。
 S：力強い感じがするので、左だと思います。
 S：右は戦わなそうだから、左の方だと思います。
 T：正解は、左です。左は、戦国時代に描かれた武士で、右は江戸時代の浮世絵に描かれた武士です。どうしてこのような違いが生まれてきたのでしょうか。調べてみましょう。



課題意識が高まる資料

○興味を引き付け、課題解決に適切な資料を提示をすることで、円滑な課題解決へつなげていく。

3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。

○元禄文化の特色を調べる。

- T：文治政治に変わった頃に生まれた元禄文化について調べましょう。
 S：作品に描かれているものには、町人や遊女、身近な生活の風景などが描かれているのだね。

図	出典	当時の呼び方	活躍した人・作った人	特徴・内容・その他	作風に描かれている人・物・場所
1	浮世草子			町人・遊女 「日本橋代官」	
2	人情画			町人・武士 「蘭船帰山中」	町人・武士
3	人物画			町人・遊女 「寛政の美人図」	
4	浮世草子	折田半兵衛			
5	浮世草子			町人・遊女 「寛政の美人図」	
6	浮世草子			町人・遊女 「寛政の美人図」	

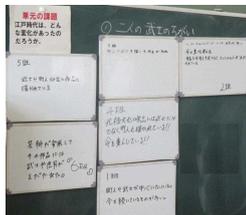
ワークシートの工夫

○文化的特色を容易につかめるようにするために、視点を絞って整理させる。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○生徒の発言をまとめ、共通して解決する単元の課題を記述する。

- T：単元の課題や本時のめあてと今日の授業の内容を振り返り、自分の考えをまとめよう。



- ☆人の命を大切に扱う社会になってきたから、作品に描かれている人物も武士だけでなく、女性や庶民が描かれてきているのです。
 ☆俳句や小説など、今につながる文化的なものがたくさんある。

一般化するためのまとめ

○政治的・文化的な変容を理解するように、ホワイトボードでまとめた各班の発表を基に生徒の言葉でまとめさせる。

次時へつなげる振り返りの視点

○「印象に残ったところ」「更に調べてみたいところ」「理解が不十分なところや、質問・疑問・感想」等の視点を示し、本質的な理解につなげていく。

指導例：『産業の発達と幕府政治の動き』（第2学年第9時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○単元の課題や学習計画を確認するとともに、追究する過程の各単位時間で解決してきたことを振り返る。

T：前回までに江戸時代のどのような変化を学習してきましたか。

S：新しい学問が生まれてきました。

T：今まで学んできた変化を通して、江戸時代について自分の考えをまとめていきましょう。

本時の見通しをもたせる

○本時の見通しをもつために、本時の位置付けが、単元の結論を導く時間であることを確認する。

めあて 江戸時代は、どのような変化があったのかについて、分かったことや考えたことを整理して自分の言葉でまとめよう。

2 一人一人が、学習してきたことを基に「単元の課題」に対する結論を考える。

○江戸時代の変化で最も印象的だった変化を画用紙にまとめる。

T：一番印象に残った江戸時代の変化を書きます。そして、その変化を選んだ理由も考えましょう。

S：現代の新幹線や高速道路のもとになったのが東海道や中山道などの五街道です。だから、五街道ができたことを取り上げましょう。

今の
新幹線や
高速道路の基礎と
なった
五街道

社会的事象を多面的・多角的に捉えるための「発表」の工夫

○今までに活用してきた資料や教科書を活用し、この単元の学習を多面的・多角的に捉えられるようにするために、一人一人が考察してきた変化で最も印象に残った変化を取り上げ、その理由を発表させるようにする。

3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。

○グループ・学級全体で話し合う。



人々に娯楽を与えた化政文化

(ワークシート記述より)

T：この単位ではどのような変化があったのでしょうか。

S：「化政文化」は、江戸時代の文化の一つで、「南総里見八犬伝」に代表されるように小説が娯楽として広がったことが分かります。

S：文字が読める人が増えた変化を表していると思います。

S：寺子屋などの教育が一般的になったという変化もあると思います。

話し合いの工夫

○クラス発表の前にグループ発表を設けることで、単元の課題に対応した発表になっているかや、伝えたい内容にふさわしいかを検討させ、クラス発表に生かす。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○発表内容を基に「分かったこと」「気付いたこと」「思ったこと」を考える。

T：みなさんの発言した内容からどのようなことが分かりましたか。

S：今の世の中の基になったものが江戸時代に作られていたのだ。

☆現代の社会の基礎は、江戸時代に作られていたということや幕府の体制が時代の変化に合わなくなってきたのだと思います。

単元全体の振り返り

○社会的事象について何を学んだかを全体で確認し、学んだことを共有し、振り返りをさせることで、自分との関わりについて考えさせ、記述させる。

私が一番印象に残った江戸時代の変化は教育の広がりです。武士だけでなく、町人や百姓の入門も許され、多くの子供が読み書きができるようになり、そのおかげで私たちが今学校で学んでいることにつながっています。
(生徒の振り返り)

社会科学習指導案

令和元年6月 第2学年 指導者 遠峯 健一

I 単元名 「産業の発達と幕府政治の動き」

II 学習指導要領上の位置付け

(3) 近世の日本

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること

(㊦) 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解すること。

(㊧) 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(㊦) 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

III 目 標

江戸時代の社会の変化に関する資料を読み取り、幕府の政策変化や産業や町人文化の発展との関連を多面的・多角的に考える活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 産業の発達と町人文化について理解しようとしている。

(知識及び技能)

イ 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子や時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ 近世の日本に関心を持ち、そこで見られる課題について意欲的に追究している。

(学びに向かう力、人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／9）

- ねらい 江戸時代初期と中期・後期の地図や絵を比較して考える活動を通して、江戸時代中・後期の変化を追究する意欲をもてるようにする。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（10分）	○スライド資料を提示して、変化を比較する活動を行う見通しをもたせる。 ○本時が「単元の課題」を設定する時間であることを確認する。		
めあて 江戸時代初期と中期・後期の地図や絵を比較して単元の課題を立てよう。			
2 一人一人が本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。（15分）	○安定した社会の実現や社会の発展などの六つの資料を提示して、資料から読み取れたこと、読み取りを通して考えたことをワークシートに記入するよう促す。		
3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことを共有し、焦点化を図る。（15分）	○一人一人が考えたことをグループ内で発表させる。 ○グループで疑問や調べたいことをホワイトボードにまとめ、学級全体に発表するように促す。 ○発表した意見の共通点や相違点を見付けるよう助言する。		
江戸時代の社会の変化について資料の読み取りや比較を基に、疑問や調べたいことを考え、表現している。＜ 発言・ノート（1）＞			
4 本時のまとめとして単元の課題を立て、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）	○江戸時代の中・後期の変化に関する六つの資料から気付いたことを発表するように促す。 ○生徒の発言を基に、キーワードを集約し、単元の課題を板書する。		
【単元の課題】江戸時代の中・後期の世の中には、どのような変化があったのだろうか。			
○本時の振り返りとして、学級全体の発表から気付いた意見について記述するように促す。 ☆江戸時代の産業や文化の大きな変化について調べてみたいな。			

V 本時の展開（4／9）

1 ねらい 徳川綱吉の政治や元禄文化の特色を調べる活動を通して、力に頼らない政治手法が広まってきたことや、庶民が世の中の中心になってきたことなどの社会の変化を理解できるようにする。

2 展開

学習活動（分） ○：留意点 点線囲：評価 ☆：振り返りの子供の意識

1 本時のめあてをつかむ。（10分）

○力に頼らない政治手法の広まりについて理解できるように、戦国時代と江戸時代の武士について描かれた絵を提示し、違いを読み取るように促す。

○戦国時代と「生類憐れみの令」の命の考え方の違いをまとめさせる。

めあて 徳川綱吉の時代の政治や、元禄文化には、どのような特色があったのだろう。

2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。（15分）

○教科書・資料集等を活用して元禄文化に関するキーワードを調べるよう促す。

○教科書・資料集等を活用して作品の登場人物や、作品の題材になっている人物に着目するよう助言する。

3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。（20分）

○戦国時代と江戸時代の武士の特徴や考え方の違いについて、教科書・資料集等を活用して表にまとめ、武断政治から文治政治へ移行したことに気付けるよう個別に助言する。

○元禄文化に描かれている対象が、どのような存在の人々なのかに気付けるように、作品資料に登場する人物の身分や性別に着目するように、グループで考えさせる。

○文治政治と元禄文化に共通する考え方について問い掛け、グループで考察した内容を学級全体で共有する。

命を大切にする考え方や庶民が世の中の中心になってきたことについて、綱吉の時代の政治や元禄文化の特色について考察し、表現している。＜発言・ノート（2）＞

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（5分）

○グループや学級で考察したことを基に、現在の社会につながる考え方や、文化的な事柄について振り返らせ、ワークシートに記述させる。

☆人や動物の命を大切にする儒教の考え方や歌舞伎や浮世絵などの町人文化の広がりから、町人をはじめとする庶民が中心の世の中になってきたことが分かった。

V 本時の展開（9／9）

- 1 ねらい 江戸時代に起こった変化に関する発表を聞き合い、単元の課題に対する結論を考える活動を通して、江戸時代の中・後期の社会の変化について理解できるようにする。
- 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（10分） ○本時は、単元の課題に対する結論を発表する時間であることを伝える。 ○めあてをつかむことができるように、今までの学習を振り返る場を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">めあて 江戸時代は、どのような変化があったのかについて、分かったことや考えたことを整理して自分の言葉でまとめよう。</div>			
2 一人一人が、学習してきたことを基に単元の課題に対する結論を考える。（10分） ○単元の当初に抱いた江戸時代の学習における疑問や、学習してきた中で最も印象的だった江戸時代の変化はどのようなものだったのかを考えさせる。 ○最も印象的だった変化とその理由を、キーワードや図絵で画用紙1枚にまとめた発表資料を作成させる。			
3 学級全体で、単元の課題に対する結論を話し合う。（20分） ○発表者の主張を明確にし、分かりやすい発表になるように、一人一人が作成した発表資料をグループ内で発表させる。 ○グループ内で発表し感想や意見を伝え合うことで、発表資料の修正を行わせる。 ○修正した発表資料を学級全体で発表し合い、多面的な視点から変化が起きたことを理解させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">江戸時代の町人文化の特色や幕藩体制の変化について、発表から理解し、キーワードを基にして表現している。＜発言・ノート（4）＞</div>			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分） ○単元の課題に対する結論について話し合ったことをワークシートにまとめる。 ○単元の課題に対する結論を基に、本単元の振り返りをするように促す。 ☆様々な社会の変化から強力な幕藩体制が揺らぎ始め、新しい時代を求める気持ちが広がってきたのだ。			

指導計画 社会科 第2学年 単元名「産業の発達と幕府政治の動き」(全9時間計画)

目標	<p>江戸時代の社会の変化に関する資料を読み取り、幕府の政策変化や産業や町人文化の発展との関連を多面的・多角的に考える活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 産業の発達と町人文化について理解しようとしている。(知識及び技能)</p> <p>イ 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子や時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 近世の日本に関心をもち、そこで見られる課題について意欲的に追究している。 (学びに向かう力、人間性等)</p>		
評価規準	<p>(1) 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がり、社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなど、近世の歴史的事象に対する関心を高め、近世の歴史的事象や特色を意欲的に追究するとともに、幕藩体制の変化について調べようとしている。</p> <p>(2) 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を幕藩体制の変化と関連付けて考察したり、適切に表現したりしている。</p> <p>(3) 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に読み取ったり、図表などにまとめたりして幕藩体制の変化について発表している。</p> <p>(4) この時代の町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解し、幕藩体制が変化してきたことを時代と関連して身に付けている。</p>		
過程	<p>時間</p> <p>○ねらい めあて</p>	<p>☆振り返り(意識)</p>	<p>◇評価項目 ＜方法(観点)＞</p>
つかむ	<p>1</p> <p>○江戸時代初期と中期・後期の地図や絵を比較して考える活動を通して、単元の課題解決への意欲をもてるようにする。</p> <p>江戸時代初期と中期・後期の地図や絵を比較して単元の課題を立てよう。</p>	<p>☆江戸時代の産業や文化の大きな変化について調べてみたいな。</p>	<p>◇江戸時代の社会の変化について資料の読み取りや比較を基に、疑問や調べたいことを考え、表現している。 ＜発言・ノート(1)＞</p>
<p>単元の課題 江戸時代の中・後期の世の中には、どのような変化があったのだろうか。</p>			
追究する	<p>1</p> <p>○農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ、そのあらましを理解できるようにする。</p> <p>江戸時代にはどのような産業が発達したのだろう。</p>	<p>☆地域に残る唐箕や千歯こきなどの農機具を始めとして小判や寛永通宝などの貨幣、着物などもこの時代に作られ、商品経済の基礎が作られたのだな。</p>	<p>◇諸産業が発達し、各地に特産物が見られるようになった理由を表現している。 ＜発言・ノート(3)＞</p>
1	<p>○交通の発達や三都をはじめとする都市の発達を理解できるようにする。</p> <p>江戸時代の交通路や都市は、どのように発展したのだろう。</p>	<p>☆五街道、関所、宿場町、城下町などの建設が情報の伝達や文化の広がりを支えているのだな。</p>	<p>◇江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などの観点から表現している。 ＜発言・ノート(2)＞</p>
1	<p>○徳川綱吉の政治や元禄文化の特色を調べる活動を通して、力に頼らない政治手法が広まってきたことや、庶民が世の中の中心になってきたことなどの社会の変化を理解できるようにする。</p> <p>徳川綱吉の時代の政治や、元禄文化には、どのような特色があったのだろう。</p>	<p>☆人や動物の命を大切にす る儒教の考え方や歌舞伎や浮世絵などの町人文化の広がりから、町人をはじめとする庶民が中心の世の中になってきたことが分かった。</p>	<p>◇命を大切にす る考え方や庶民が世の中の中心になってきたことについて、綱吉の時代の政治や元禄文化の特色について考察し、表現している。 ＜発言・ノート(2)＞</p>
1	<p>○幕藩体制の基盤が揺らぎ、百姓一揆が起きたことや、その中で差別が強化されたことを理解できるようにする。</p> <p>徳川吉宗の政治改革には、どのような特色があったのだろう。</p>	<p>☆商品作物の生産・取引や問屋制家内工業の始まりなどが貨幣経済の広がりを起こし、工業生産の発達を引き起こす元ができたことが分かった。</p>	<p>◇グラフを活用し、社会の様子や変化について考察し、その理由を表現している。 ＜発言・ノート(3)＞</p>
1	<p>○田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、政策の共通点・相違点を理解できるようにする。</p> <p>田沼政治と松平定信の政策には、どのような特色があったのだろう。</p>	<p>☆幕政改革には支出を減らす政策と収入を増やす政策の二つがあり、幕府政治の行き詰まりとともに、財政再建のために貿易を用いるなど、経済の基礎が変化してきたことが分かった。</p>	<p>◇田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、財政政策における収入と支出の観点から考察し、その違いについて表現している。 ＜発言・ノート(2)＞</p>

	<p>1 ○国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>社会の変化の中で発展した学問や文化には、どのような特色があったのだろうか。</p> </div>	<p>☆現在の学校の基になる寺子屋が作られたことが日本の高い識字率を実現したことや、文化が広がる基盤になったこと、近代産業が発展する要因ができたのだな。</p>	<p>◇資料を読み取り、全国に教育施設が広がっていった変化の様子を表現している。</p> <p style="text-align: right;">＜発言・ノート(3)＞</p>
	<p>1 ○外国船の接近とそれに対する幕府の対応について、資料から理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>国の内外からの危機に対して、江戸幕府はどのように対応していったのだろうか。</p> </div>	<p>☆幕政の失敗や外国船接近に対する幕府の対応の変化などから、幕藩体制が揺らいでいることが分かった。</p>	<p>◇外国船の接近と幕府の対応や対応の変化についてまとめ、外国勢力からの圧力へという新たな課題が生じたことを理解し、表現している。</p> <p style="text-align: right;">＜発言・ノート(4)＞</p>
<p>まとめ</p>	<p>1 ○江戸時代に起こった変化に関する発表を聞き合い、単元の課題に対する結論を考える活動を通して、江戸時代の中・後期の社会の変化について理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>江戸時代は、どのような変化があったのかについて、分かったことや考えたことを整理して自分の言葉でまとめよう。</p> </div>	<p>☆様々な社会の変化から強力な幕藩体制が揺らぎ始め、新しい時代を求める気持ちが広がってきたのだな。</p>	<p>◇江戸時代の町人文化の特色や幕藩体制の変化について、発表から理解し、キーワードを基にして表現している。</p> <p style="text-align: right;">＜ 発言・ノート(4)＞</p>